

令和7年度 安城市事業者取組調査結果

I. 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、第2次安城市環境基本計画改定のための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査対象

調査対象は、安城市全域の事業所400件（無作為）としました。

3. 調査期間

郵送による配布を、令和7年5月7日に行い、同年5月30日を期限として郵送またはWebにより回収しました。

4. 回収結果

回収結果を以下に示します。

	配布数	回収数	回収率
事業所	400	182	45.5%

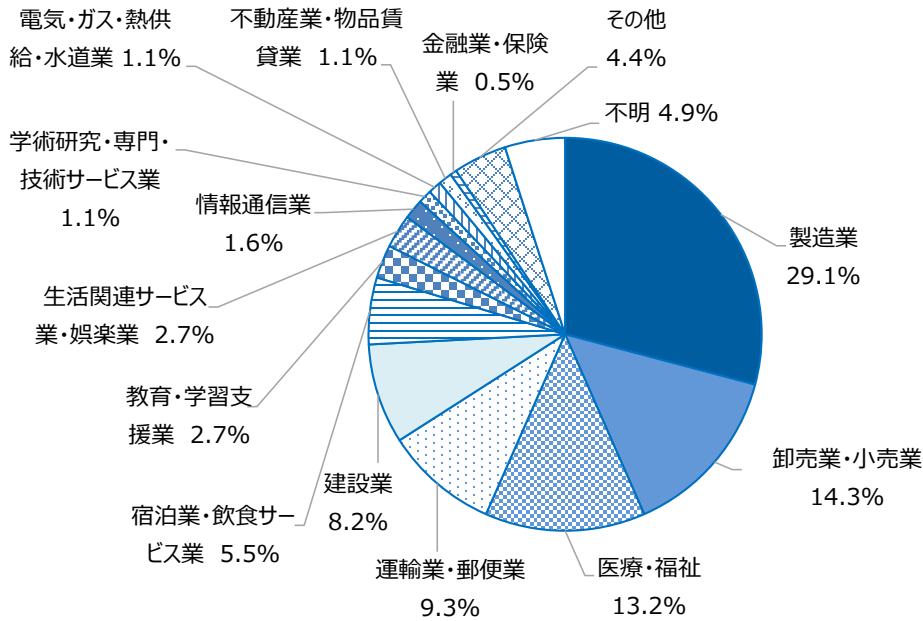
5. 報告書の見方

- パーセント表示については、端数処理の関係で合計が100にならない場合もあります。
- 報告書の表、グラフ及び文章等で示した回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- 「不明」は無回答及び無効回答を示します。
- 令和元年度にも同様の調査項目で市民行動調査を実施しており、その結果と比較しています。

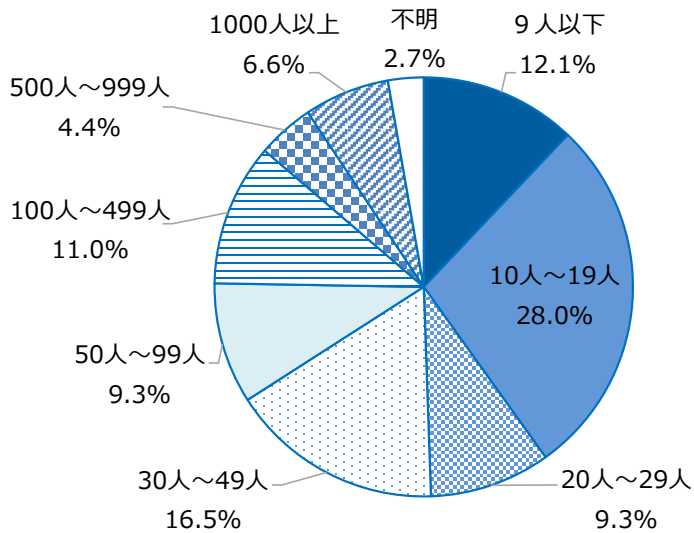
II. 集計結果

1. 回答者の属性

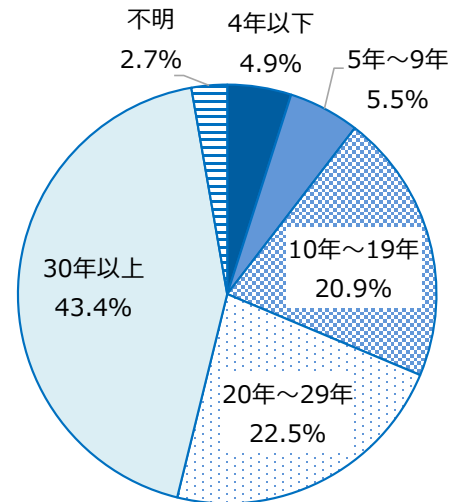
【業種】



【従業員数】

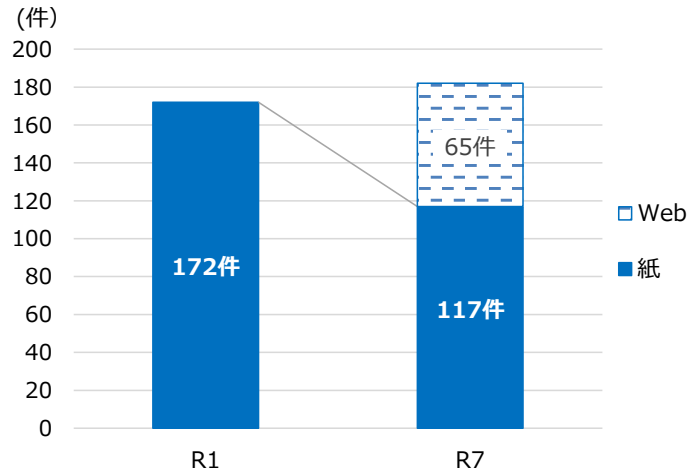


【在所要年数】



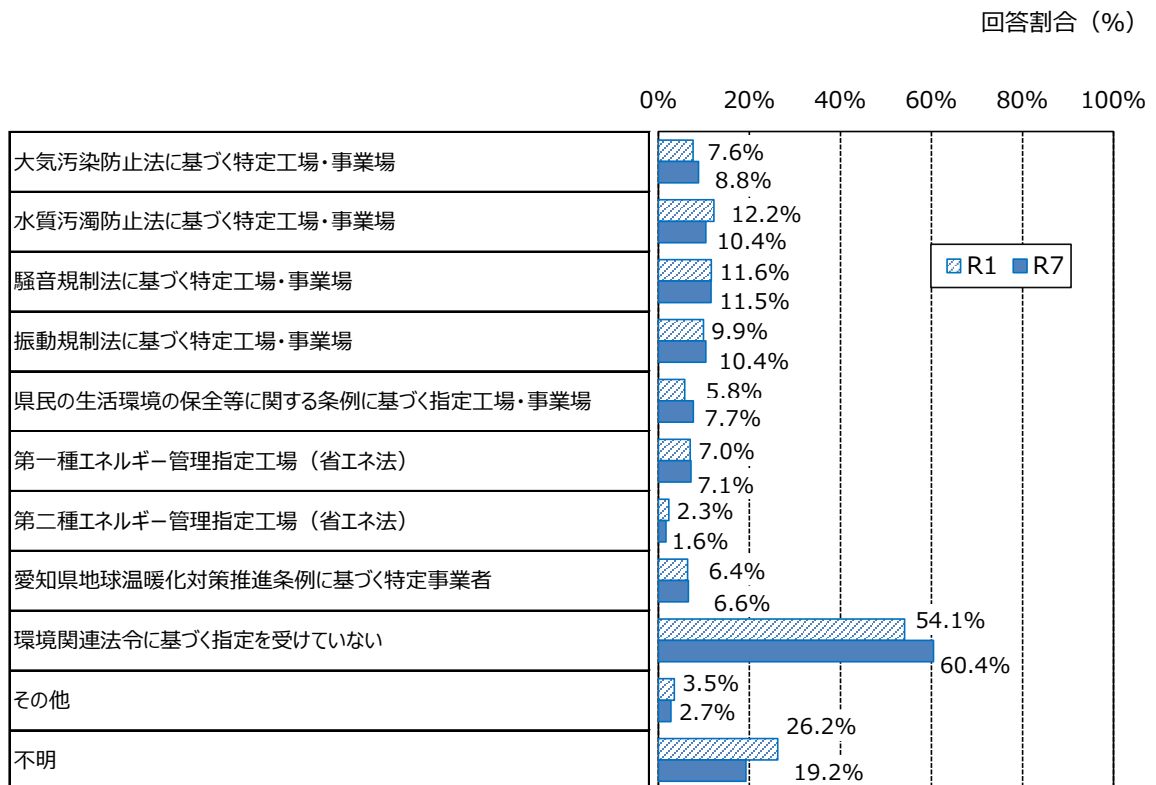
- ・業種は、製造業が 29.1% で最も多く、次いで卸売業・小売業が 14.3% となっています。
- ・従業員数は、10 人～19 人が 28.0% で最も多く、次いで 30 人～49 人が 16.5% となっています。
- ・在所要年数は、30 年以上が 43.4% で最も多く、次いで 20 年～29 年が 22.5% となっています。

【回収数】



- 回収数がやや増加しています。今回から Web 回答を導入したことにより、回答が省力化されたことが影響した可能性があります。

【環境関連法令指定について】



- 「環境関連法令に基づく指定を受けていない」とする事業所が 60.4% で最も多く、次いで「騒音規制法に基づく特定工場・事業場」が 11.5% となっています。
- 「不明」とする回答が減少しています。事業所の法令指定に関する把握が進んだと考えられます。

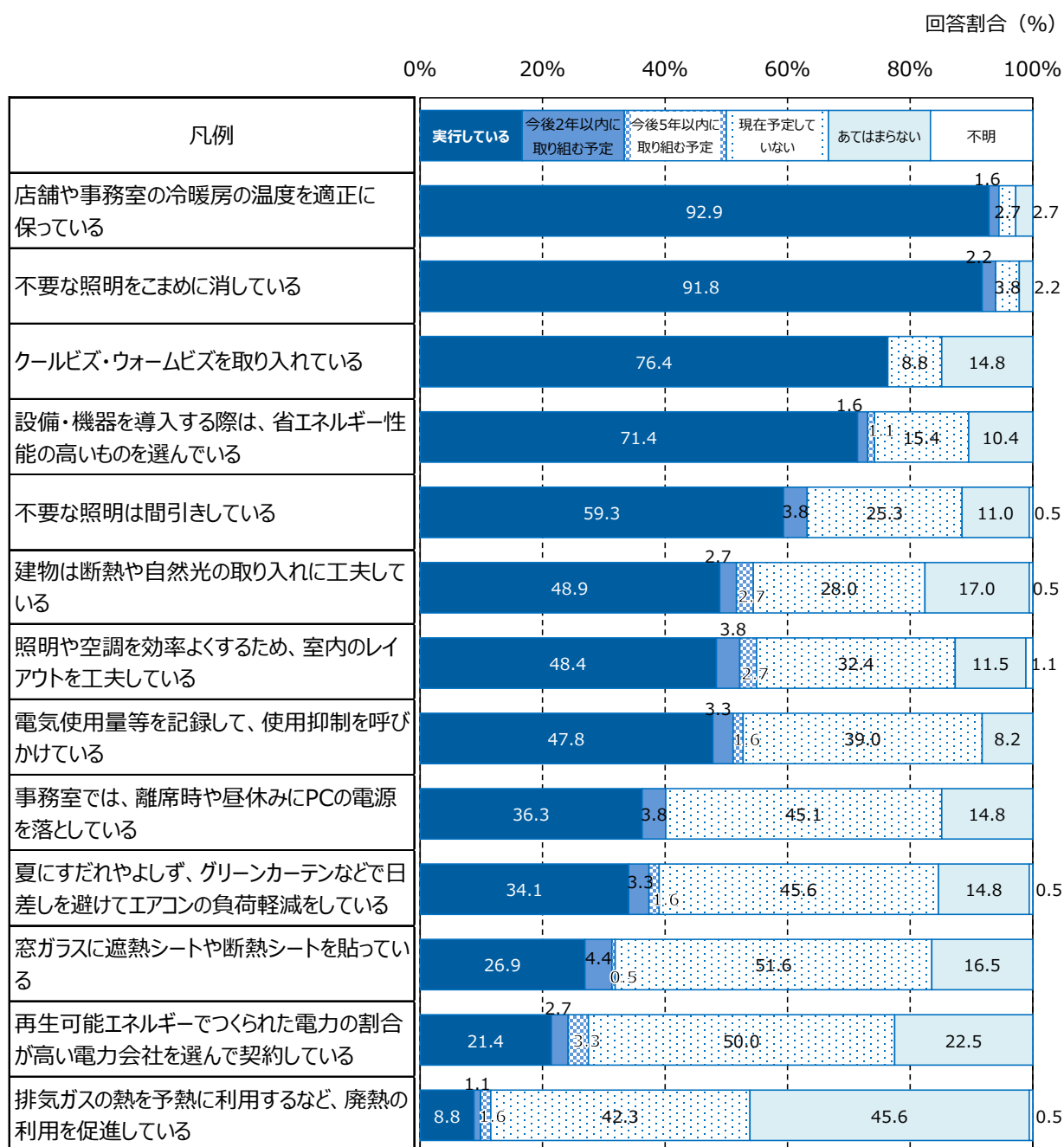
2. 【問1】 集計結果

《環境に対する取組について》

貴事業所ではより良い環境づくりに対して、普段どのようなことを行っていますか。以下の各項目について、それぞれ次の1～5のあてはまる番号に○をつけてください。(1. 実行している 2. 今後2年以内に取り組み 3. 今後5年以内に取り組み 4. 現在予定していない 5. あてはまらない)

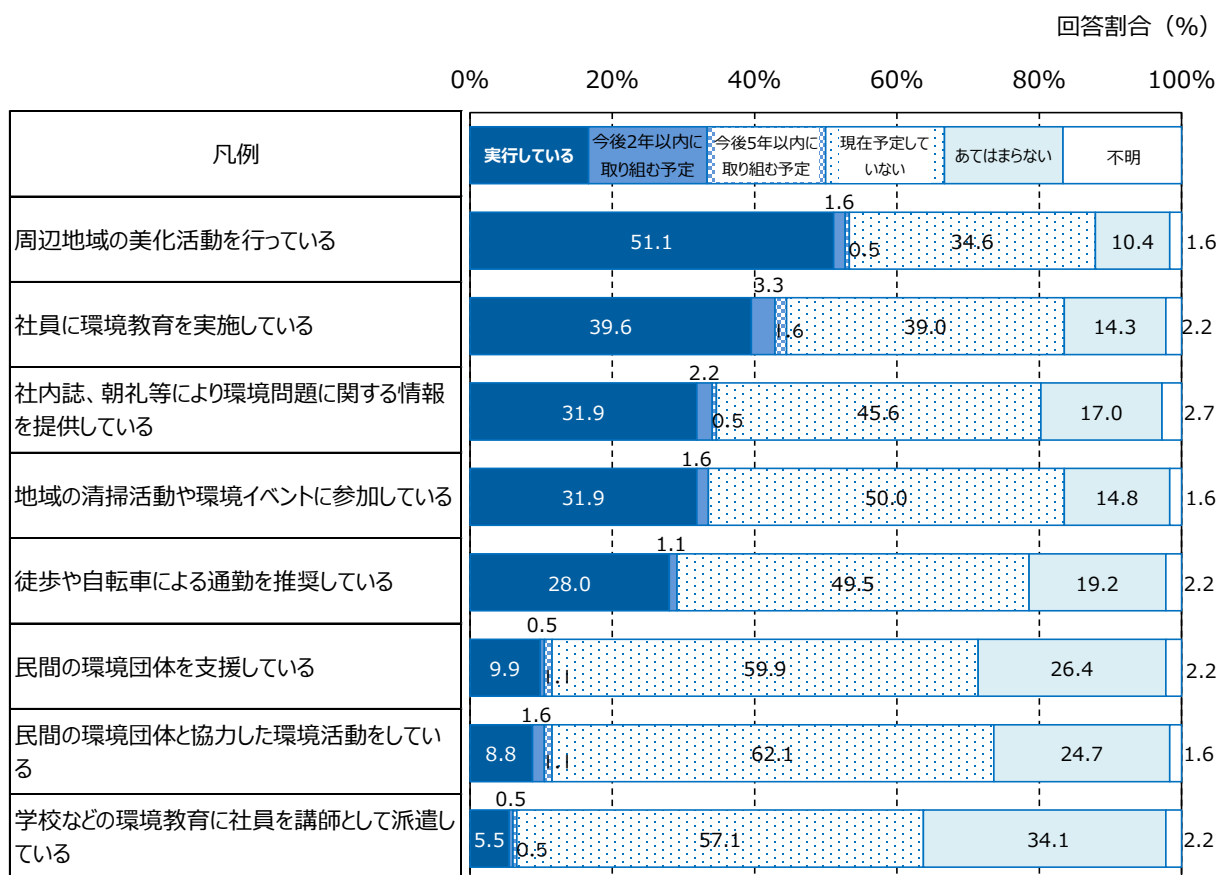
※貴社の業務内容や、施設・設備の事業により、あてはまる回答がない場合は、「5. あてはまらない」に○をつけてください。

(1) 省エネルギー・節電について



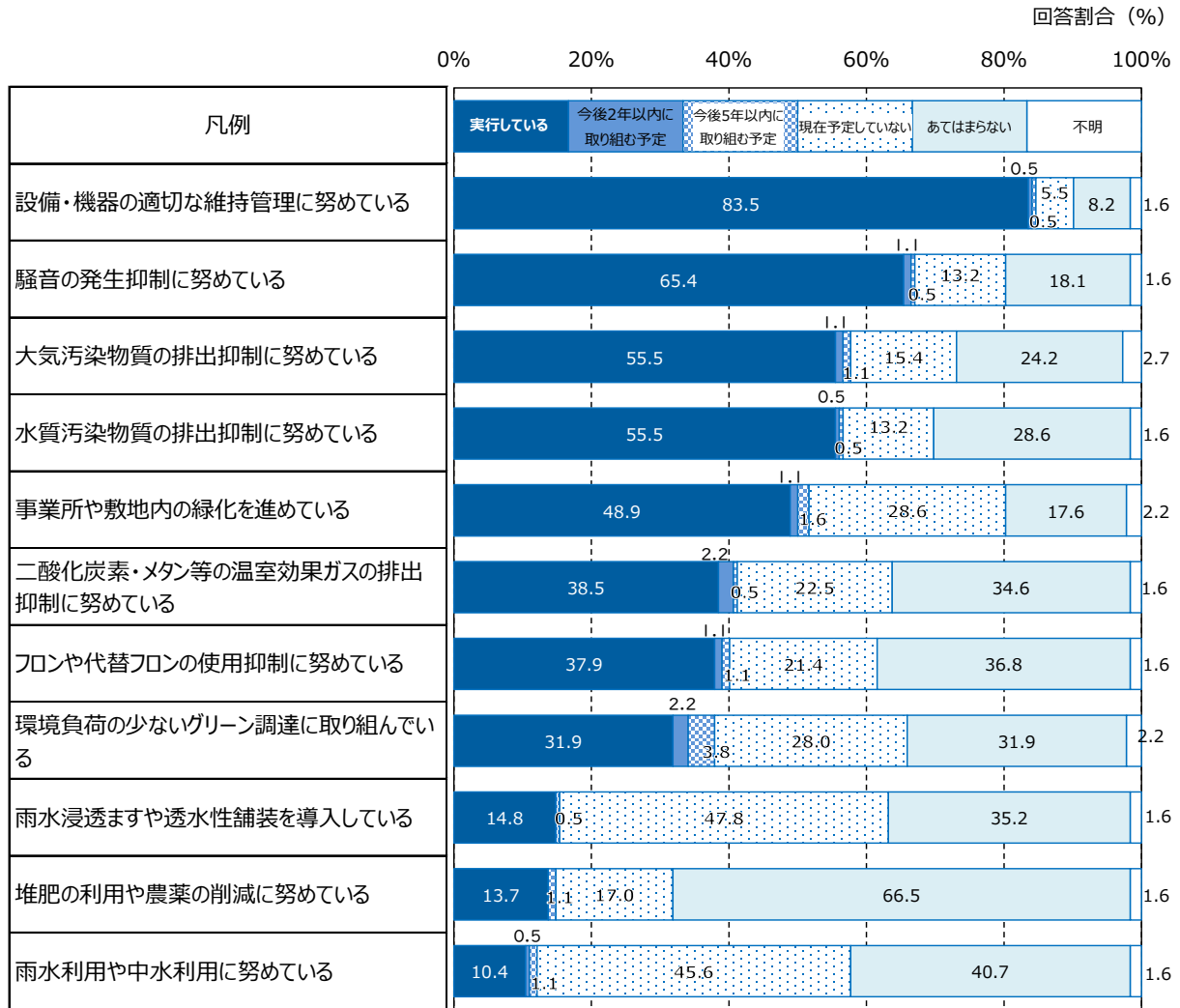
- ・「実行している」が多く「現在予定していない」が少なかったのは、「冷暖房の温度管理」、「不要な照明の消灯」、「クールビズ・ウォームビズの導入」、「省エネ性能の高い設備の選定」でした。これらの「実行している」の割合は約70～90%であり、省エネルギー・節電の意識は広く普及してると考えられます。
- ・「実行している」が少なく「現在予定していない」が多かったのは、「遮熱・断熱シートの使用」、「再エネ電力の契約」、「すだれ・よしず・グリーンカーテンなど」、「PCの電源オフ」、「排気ガスの廃熱利用」でした。「現在予定していない」の割合は約40～50%となっています。日常行動や小規模な設備投資による省エネ・節電効果の周知、再エネ電力をより多くの人に知ってもらうことが課題です。また、「排気ガスの廃熱利用」は大規模な設備投資が必要なこともあり、取組割合が増えるのには時間がかかることが考えられます。

(2) 社員の環境教育・行動について



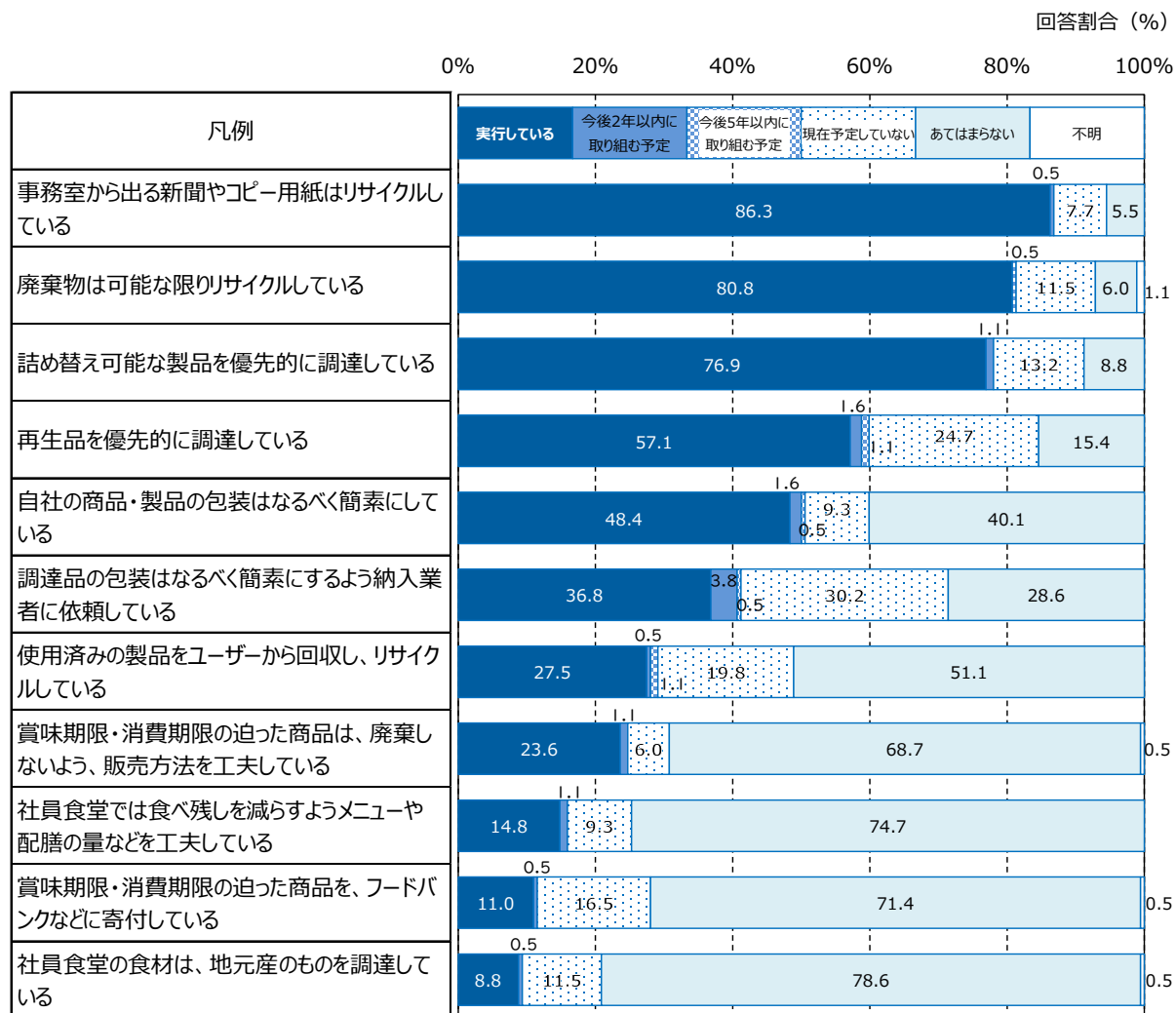
- ・「実行している」が多かったのは、「周辺地域の美化活動」、「社員への環境教育」で、約40～50%が実施していました。
- ・「実行している」が少なかったのは、「民間環境団体への支援や協力」、「学校などへの講師派遣」で、10%未満でした。
- ・いずれの項目も、「現在予定していない」が約35～60%と多いです。社員の環境教育・行動について、市と事業者が機会を増やすこと、環境教育・行動に取り組んでいる事業者が評価される仕組みを作ることが課題です。

(3) 公害及び地球環境問題への対応について



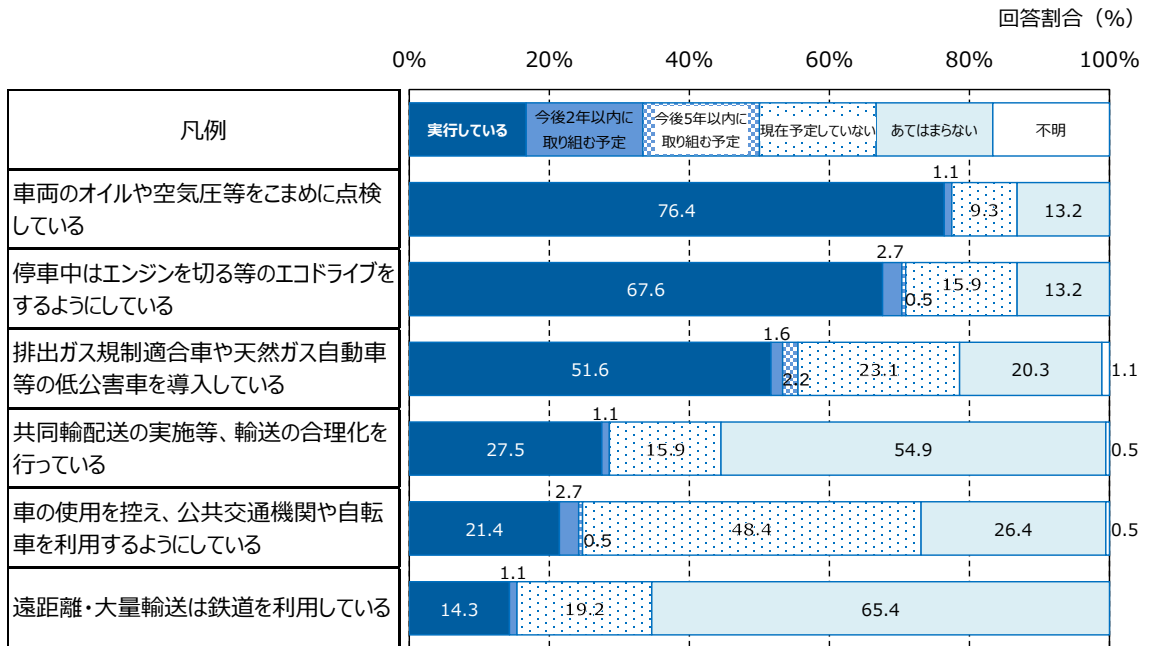
- ・「実行している」が多く「現在予定していない」が少なかったのは、「設備・機器の適切な維持管理」、「騒音の発生抑制」、「大気汚染物質の発生抑制」、「水質汚染物質の発生抑制」でした。公害の法規制について、事業者の理解が広がったと考えられます。
- ・「実行している」が少なく「現在予定していない」が多かったのは、「雨水浸透ますや透水性舗装の導入」、「堆肥の利用や農薬削減」、「雨水利用や中水利用」でした。市の雨水貯留浸透施設設置補助事業等の普及・啓発が課題です。
- ・地球環境問題への対応項目である「敷地内の緑化」、「温室効果ガスの排出抑制」、「フロン等の使用抑制」、「グリーン調達」は、「現在予定していない」がいずれも約20～30%あり、地球温暖化対策の普及・啓発が課題です。

(4) 省資源・リサイクルについて



- ・「実行している」が多く「現在予定していない」が少ない項目が大部分でした。省資源・リサイクルが企業活動に根付いていると考えられます。循環経済につながる「再生品の優先的調達」や、省資源につながる「調達品の簡易包装」の普及・啓発が課題です。
- ・「実行している」が少なく「現在予定していない」が多かったのは、「賞味期限・消費期限の迫った商品のフードバンクなどへの寄付」、「社員食堂での地元産食材の調達」でした。フードバンクの普及・啓発、地産地消が地域の農地・自然環境の保全につながるなどメリットを知ってもらうことが課題です。

(5) 自動車の運用について



- ・「実行している」が多く「現在予定していない」が少なかったのは、「車両のオイルや空気圧のこまめな点検」、「停車中のエンジン停止などのエコドライブ」、「排出ガス規制適合車や天然ガス自動車などの低公害車の導入」、「共同輸配送など輸送の合理化」でした。運転時には環境に優しい行動ができています。「低公害車の導入」、「共同輸送など輸送の合理化」で、「現在予定していない」を減らすことが課題です。
- ・「実行している」が少なく「現在予定していない」が多かったのは、「車の使用を控えて公共交通機関や自転車を利用」、「遠距離・大量輸送での鉄道利用」でした。事業者への普及・啓発のほか、公共交通の充実が課題です。

3. 【問1】 令和元年度と令和7年度の実行度の比較

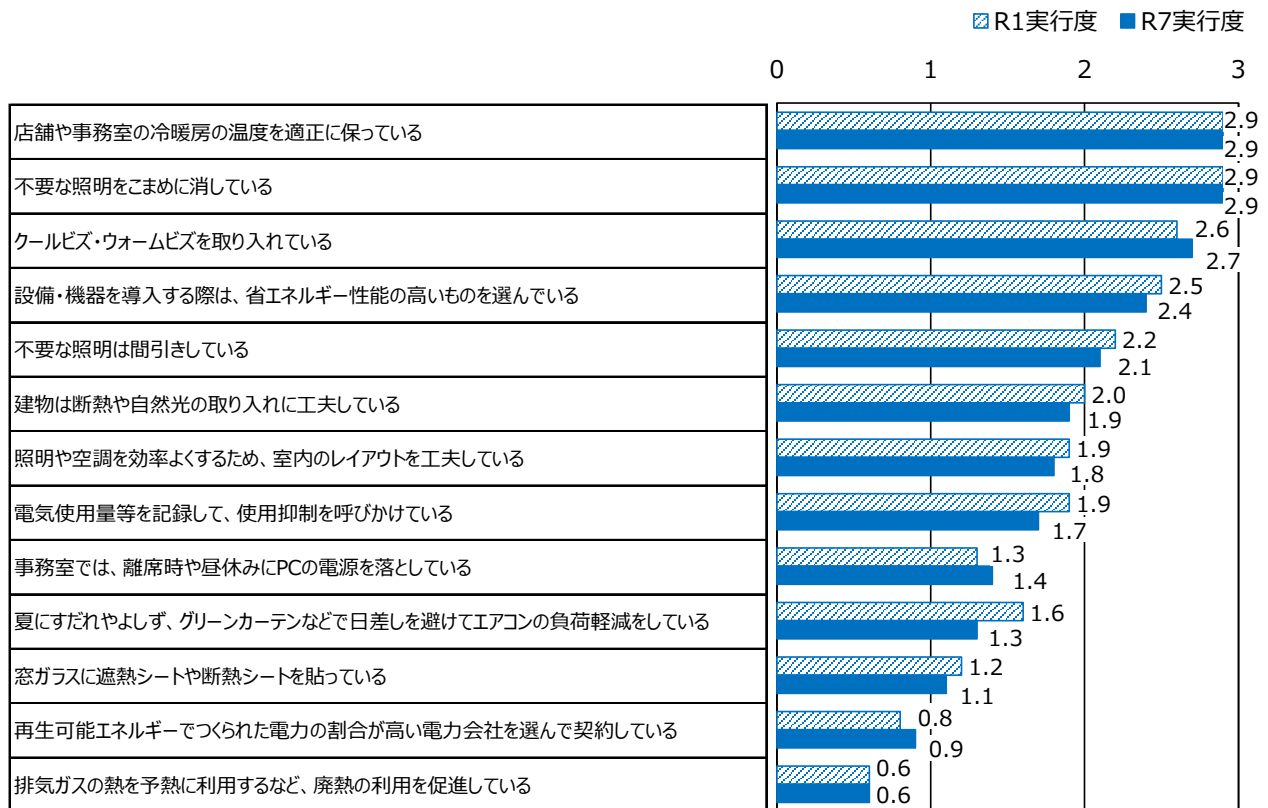
各項目の取組度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

- ・「実行している」 = 3点
- ・「今後2年以内に取り組む予定」 = 2点
- ・「今後5年以内に取り組む予定」 = 1点
- ・「現在予定していない」 = 0点

$$\text{実行度} = \{ (\text{「実行している」の回答数}) \times 3 + (\text{「今後2年以内に取り組む予定」の回答数}) \times 2 + (\text{「今後5年以内に取り組む予定」の回答数}) \times 1 + (\text{「現在予定していない」の回答数}) \times 0 \} \div \{ \text{回収数} - (\text{「あてはまらない」の回答数}) - \text{不明数} \}$$

※実行度は3に近いほど、「実行している事業所が多い」とみなすことができます。

(1) 省エネルギー・節電について



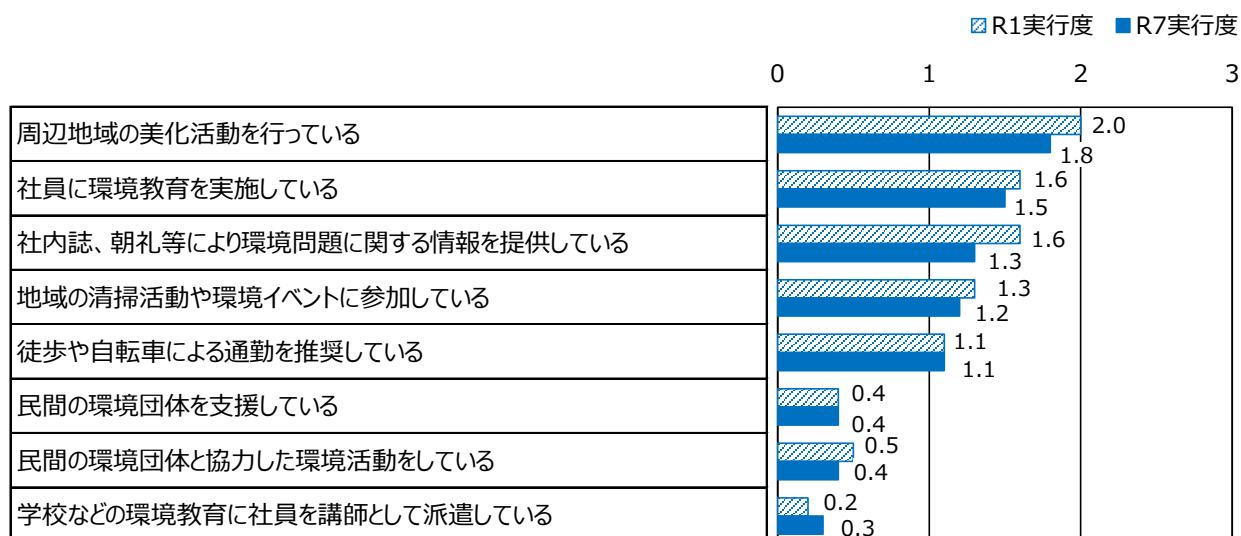
(改善された点)

- ・ 実行度が上がった設問は、「クールビズ・ウォームビズの導入」、「PCの電源OFF」、「再エネ電力の契約」の3つでした。

(改善されなかった点)

- ・ 13の設問のうち7つの実行度が下がっており、多くの設問が改善されていません。
- ・ 市民へのアンケートの「電気・燃料等の節約」で実行度が下がったのは、17の設問のうち5つであったことから、事業所への普及・啓発が課題です。

(2) 社員の環境教育・行動について



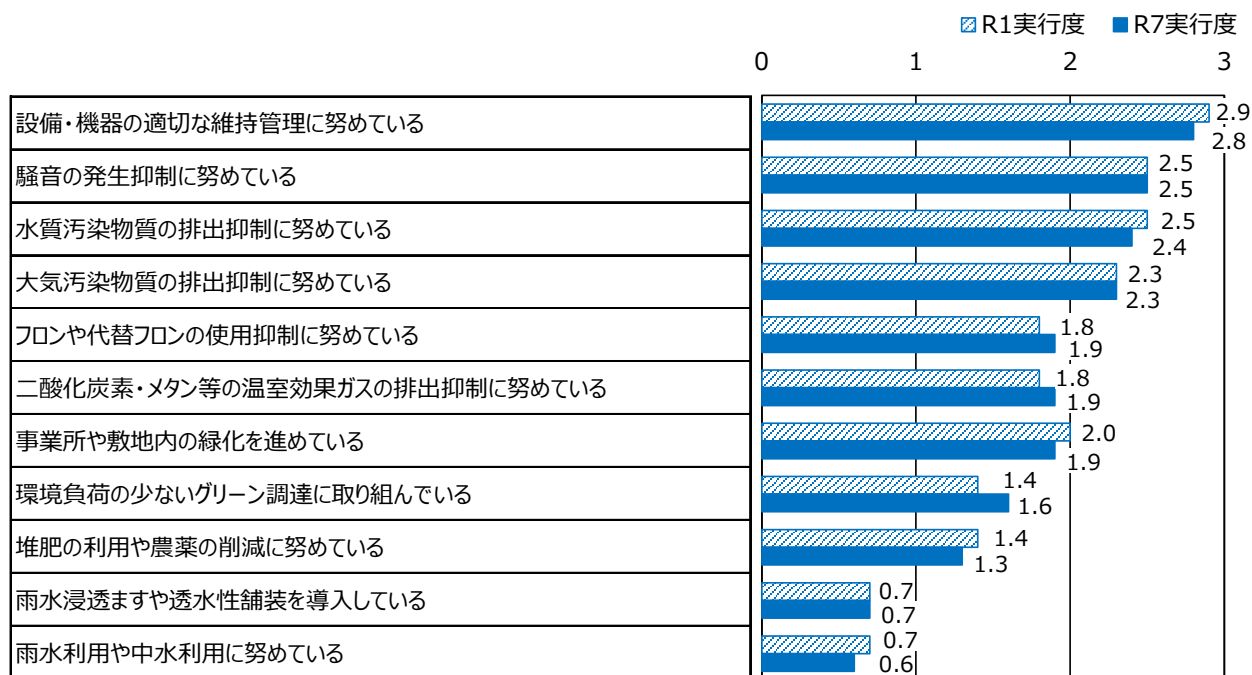
(改善された点)

- ・ 実行度が上がった設問は「学校への社員派遣」でした。ただし、全体と比較して実行度が低いことから、学校教育課程に企業が参加する機会を官民が協力して増やすことが課題です。

(改善されなかった点)

- ・ 実行度が下がった設問は、「周辺地域の美化活動」、「社員への環境教育」、「社内誌や朝礼等で環境情報を提供」、「地域の清掃活動・環境イベントへの参加」、「民間環境団体と協力した環境活動」でした。
- ・ 8つの設問のうち5つの実行度が下がっています。「環境学習・環境行動」は、第2次安城市環境基本計画で「1つの土台」と位置づけているため、事業者への普及・啓発の強化が課題です。

(3) 公害及び地球環境問題への対応について



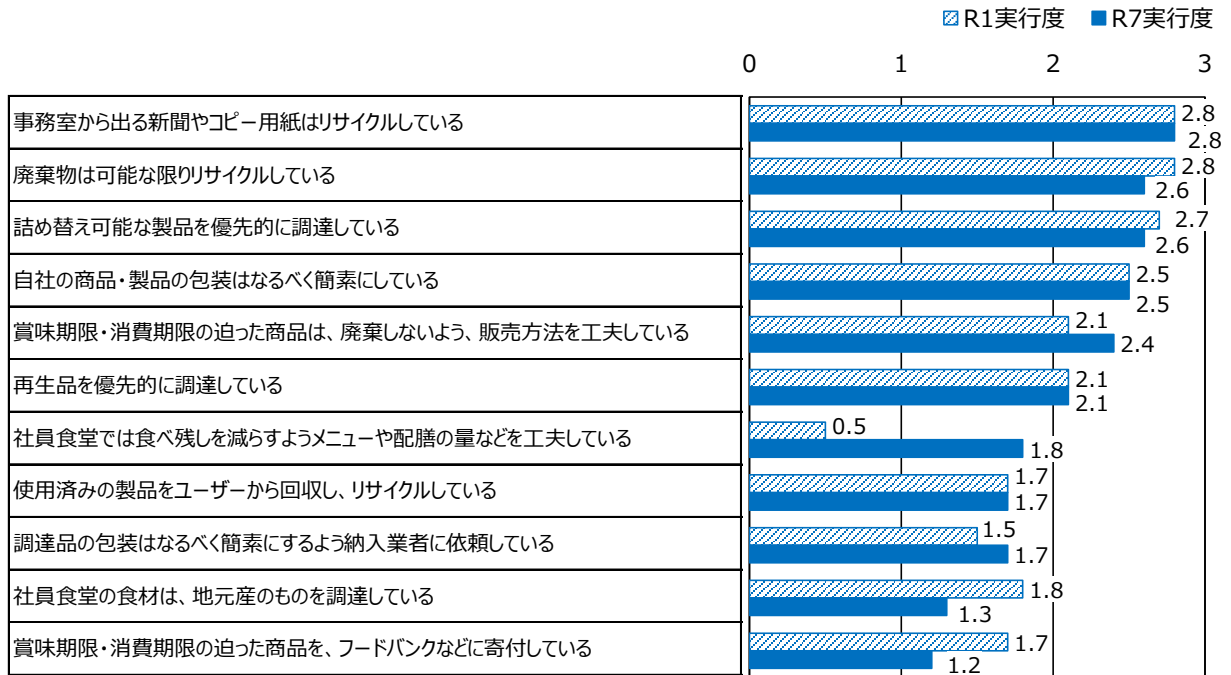
(改善された点)

- ・ 実行度が上がった設問は、「フロン・代替フロンの使用抑制」や「温室効果ガスの排出抑制」、「グリーン調達」でした。地球環境問題のうち温室効果ガスの削減に改善が見られます。

(改善されなかった点)

- ・ 実行度が下がった設問は、「設備・機器の適切な維持管理」、「水質汚染物質の排出抑制」、「事業所や敷地内の緑化」、「堆肥の利用や農薬削減」、「雨水利用や中水利用」でした。このうち、実行度が低い「雨水利用や中水利用」の改善には、市の雨水貯留浸透施設設置補助事業の普及・啓発等が課題です。

(4) 省資源・リサイクルについて



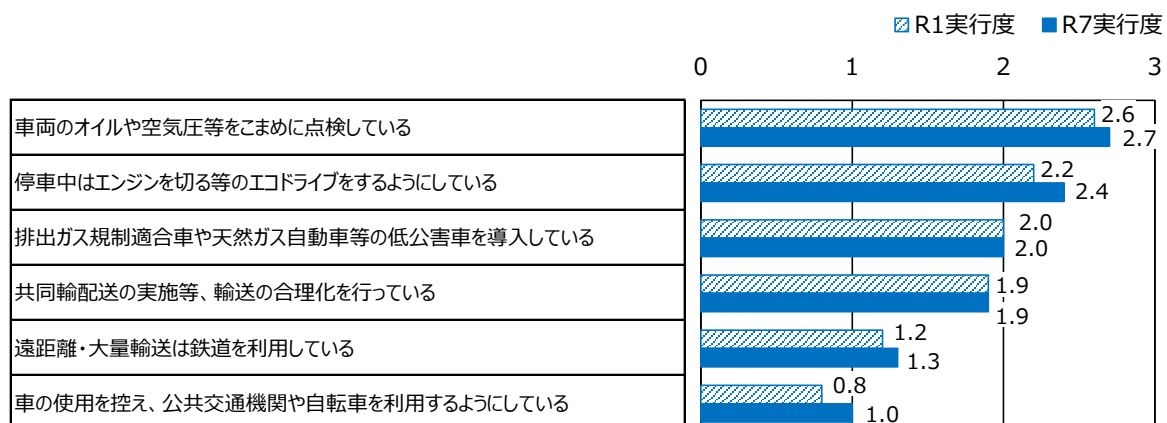
(改善された点)

- ・ 実行度が上がった設問は、「賞味期限・消費期限の迫った商品の販売工夫」、「社員食堂での食べ残し削減」、「調達品の包装の簡素化」でした。特にフードロス削減につながる行動が大きく改善されました。

(改善されなかった点)

- ・ 実行度が下がった設問は、「廃棄物のリサイクル」、「詰め替え可能な製品の優先調達」、「社員食堂での地元産食材の調達」、「フードバンクへの寄付」でした。特に「地元産食材の調達」、「フードバンクへの寄付」が大きく下がっていることから、フードバンクの普及・啓発、地産地消が地域の農地・自然環境の保全につながるなどメリットを知ってもらうことが課題です

(5) 自動車の運用について



(改善された点)

- ・ 実行度が上がった設問は、「車両のオイルや空気圧のこまめな点検」、「停車中のエンジン停止などのエコドライブ」、「遠距離・大量輸送での鉄道利用」、「車の使用を控えて公共交通機関や自転車を利用」でした。
- ・ 自動車の運用については、全体的に改善しています。

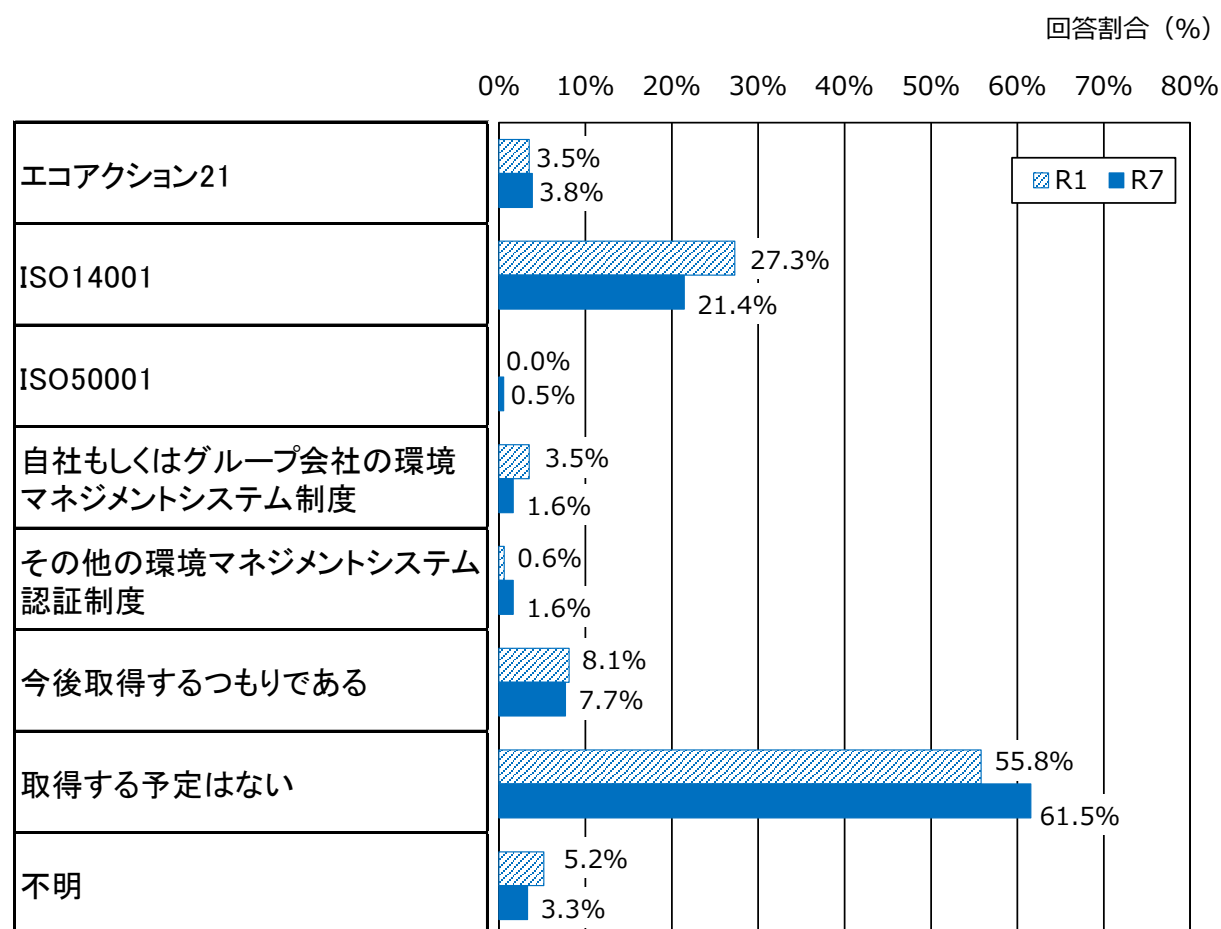
(改善されなかった点)

- ・ 実行度が下がった設問は、ありませんでした。

4. 【問2】 集計結果

《環境マネジメントシステムについて》

貴事業所では、環境管理のための社内制度（環境マネジメントシステム）を導入していますか。次の1～7の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。（1. エコアクション21 2. ISO14001 3. ISO50001 4. 自社もしくはグループ会社の環境マネジメントシステム制度 5. その他の環境マネジメントシステム認証制度 6. 今後取得するつもりである 7. 取得する予定はない）



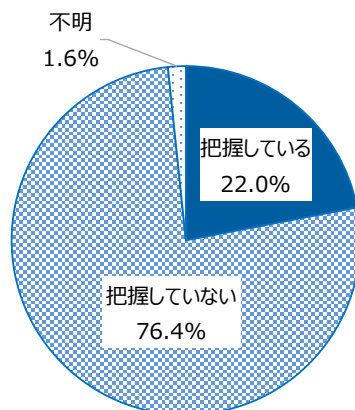
- ・「ISO14001」は27.3%から5.9%減少しました（減少率は約22%）。ISO14001の認証件数の減少は、世界的、日本全国的なものであり、安城市特有の現象ではありません。ISO本部の年次調査（ISO Survey）によると、日本国内では2009年をピークに、2023年までの14年間で約46%減少しています。
- ・「取得する予定はない」は55.8%から5.7%増加しました。
- ・変化の背景として、大手企業との取引条件の変化が考えられます。近年は、ISOなど具体的環境マネジメントシステムよりも、具体的な環境配慮（CO₂削減など）が重視される傾向があります。

5. 【問3】 集計結果

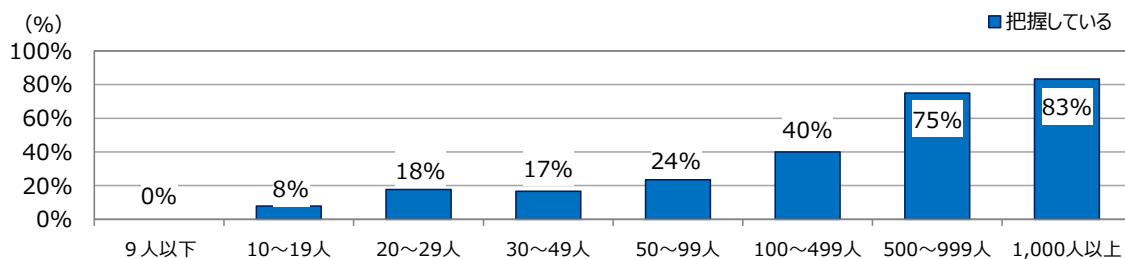
《温室効果ガス排出量の把握について》

貴事業所では、事業における温室効果ガス排出量について把握されていますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。(1. 把握している 2. 把握していない)

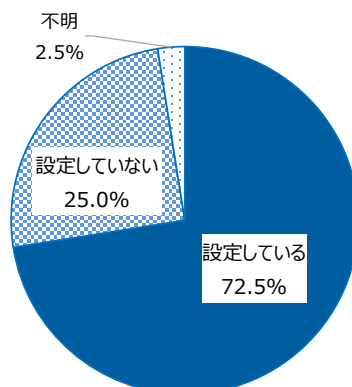
「把握している」を選んだ方は、下の枠線内の質問もお答えください。



【事業所規模別に見た把握状況の割合】



温室効果ガス排出量の削減目標を設定していますか。次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。



- ・事業所の22%が温室効果ガス排出量を把握しており、そのうち72.5%が削減目標を設定しました。事業所の規模が大きいほど、温室効果ガス排出量を把握している割合が高くなっています。
- ・独自に削減目標を設定する場合や、取引先からの要求（取引条件）により削減目標を設定することが考えられます。

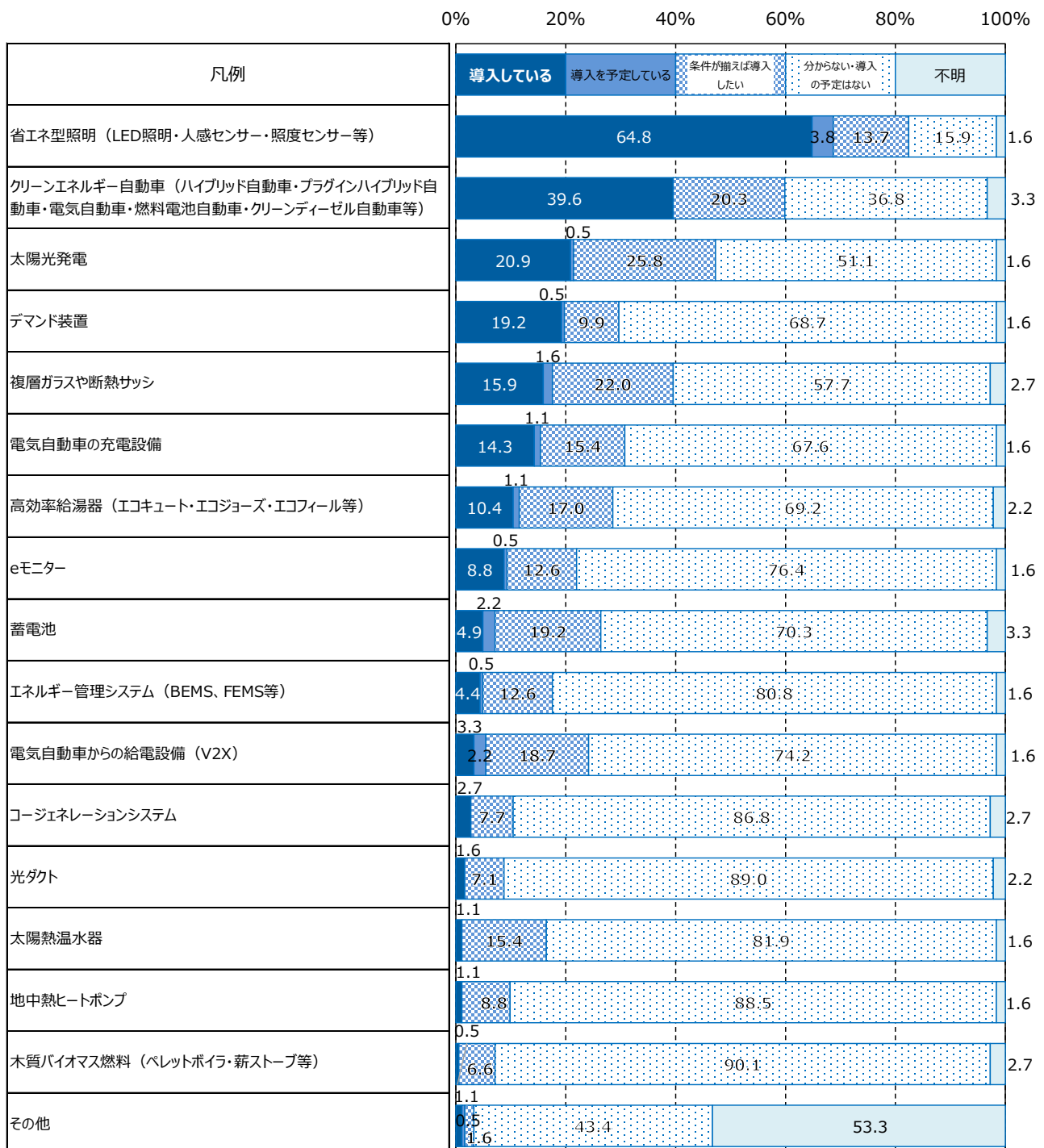
6. 【問4】 集計結果

《再生可能エネルギー・省エネルギーについて》

貴事業所では、再生可能エネルギー・省エネルギー設備を導入していますか。また今後導入する予定はありますか。以下の各項目について、それぞれ右の1~4のあてはまる番号に○をつけてください。(1. 導入している 2. 導入を予定している 3. 条件が揃えば導入したい 4. 分からない・導入の予定はない)

※テナントである、賃貸である等の理由で、導入したいものの実現が難しい場合は、「3. 条件が揃えば導入したい」に○をつけてください。

回答割合 (%)



- ・「省エネ型照明」、「クリーンエネルギー自動車」を導入している割合が特に高くなっています。
- ・導入している割合が高い上位5項目「省エネ型照明」～「複層ガラスや断熱サッシ」の順位は、令和元年度から変動がありませんでした。
- ・導入している割合の順位を上げた項目は、「電気自動車の充電設備」、「電気自動車からの給電設備」、「地中熱ヒートポンプ」で、それぞれ1つ順位が上がりました。令和元年度以降、電気自動車とその設備が増えたと考えられます。
- ・全体的に大きな変化はありませんでした。変化が小さかったのは、事業者の設備投資が中長期的に行われるためと考えられます。

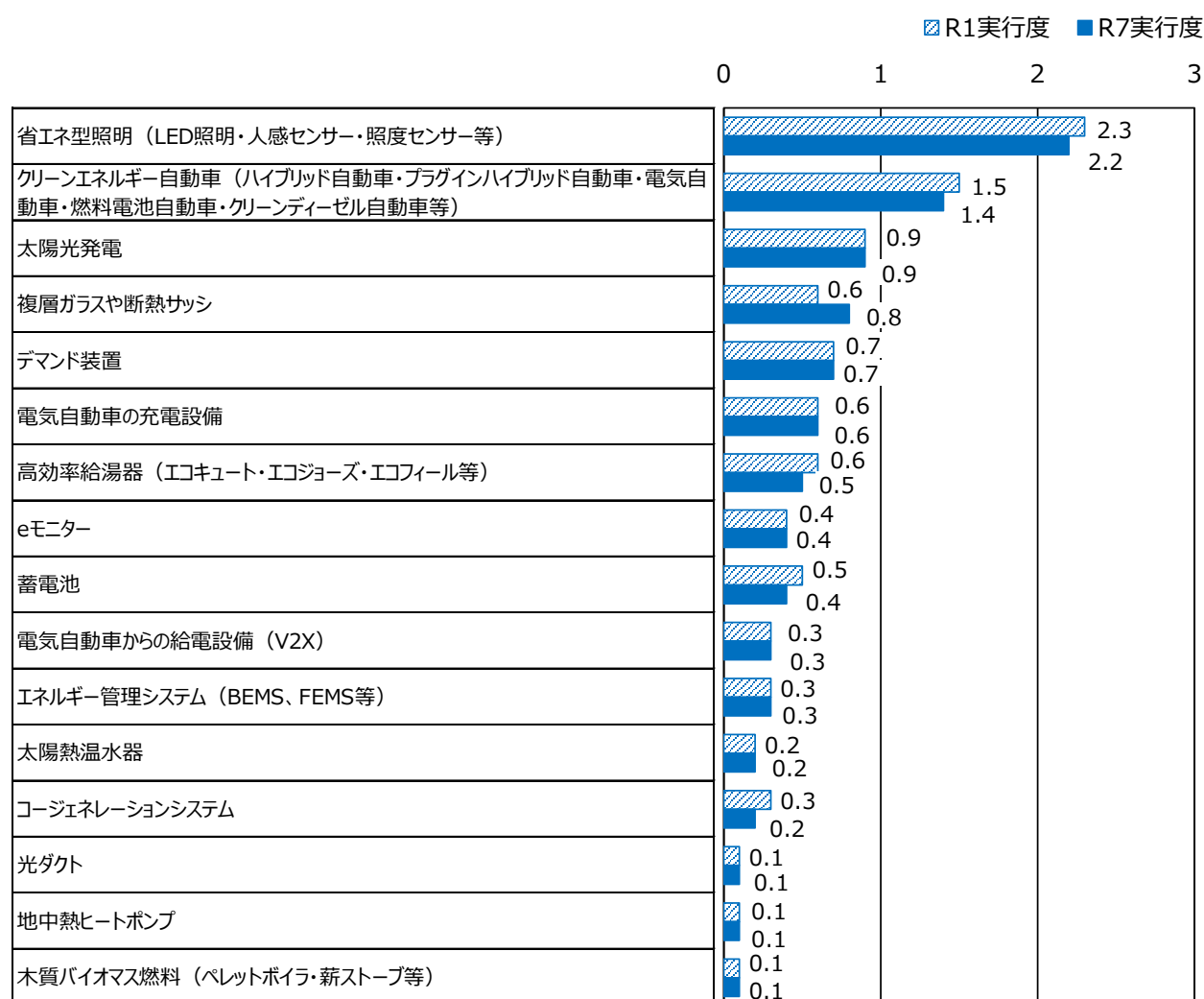
各項目の取組度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

- ・「導入している」 = 3点
- ・「導入を予定している※」 = 2点
- ・「条件が揃えば導入したい」 = 1点

$$\text{実行度} = \{(\text{「導入している」の回答数}) \times 3 + (\text{「導入を予定している」の回答数}) \times 2 + (\text{「条件が揃えば導入したい」の回答数}) \times 1\} \div \{\text{回収数} - (\text{「分からない・導入の予定はない」の回答数}) - \text{不明数}\}$$

※実行度は3に近いほど、「実行している事業所が多い」とみなすことができます。

※「導入を予定している」は、令和元年度の選択肢では、「今後5年以内に取り組む予定」となっています。



(改善された点)

- ・「複層ガラスや断熱サッシ」の実行度が上がっています。

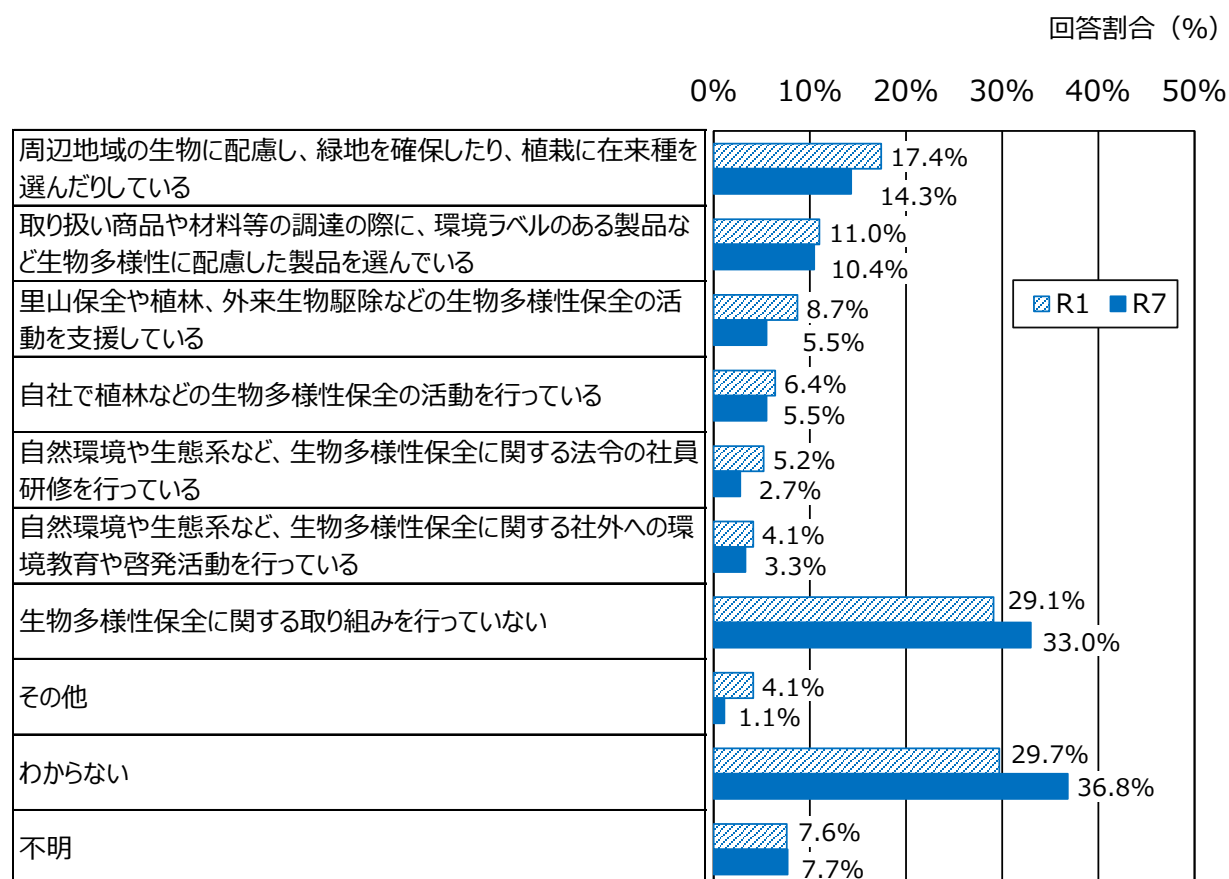
(改善されなかった点)

- ・多くの項目がほぼ横ばいの状況でした。補助制度の普及・啓発等により導入を促すことが課題です。

7. 【問5】 集計結果

《生物多様性の保全について》

貴事業所では、生物多様性の保全について、どのような取り組みを行っていますか。次の中から、あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。



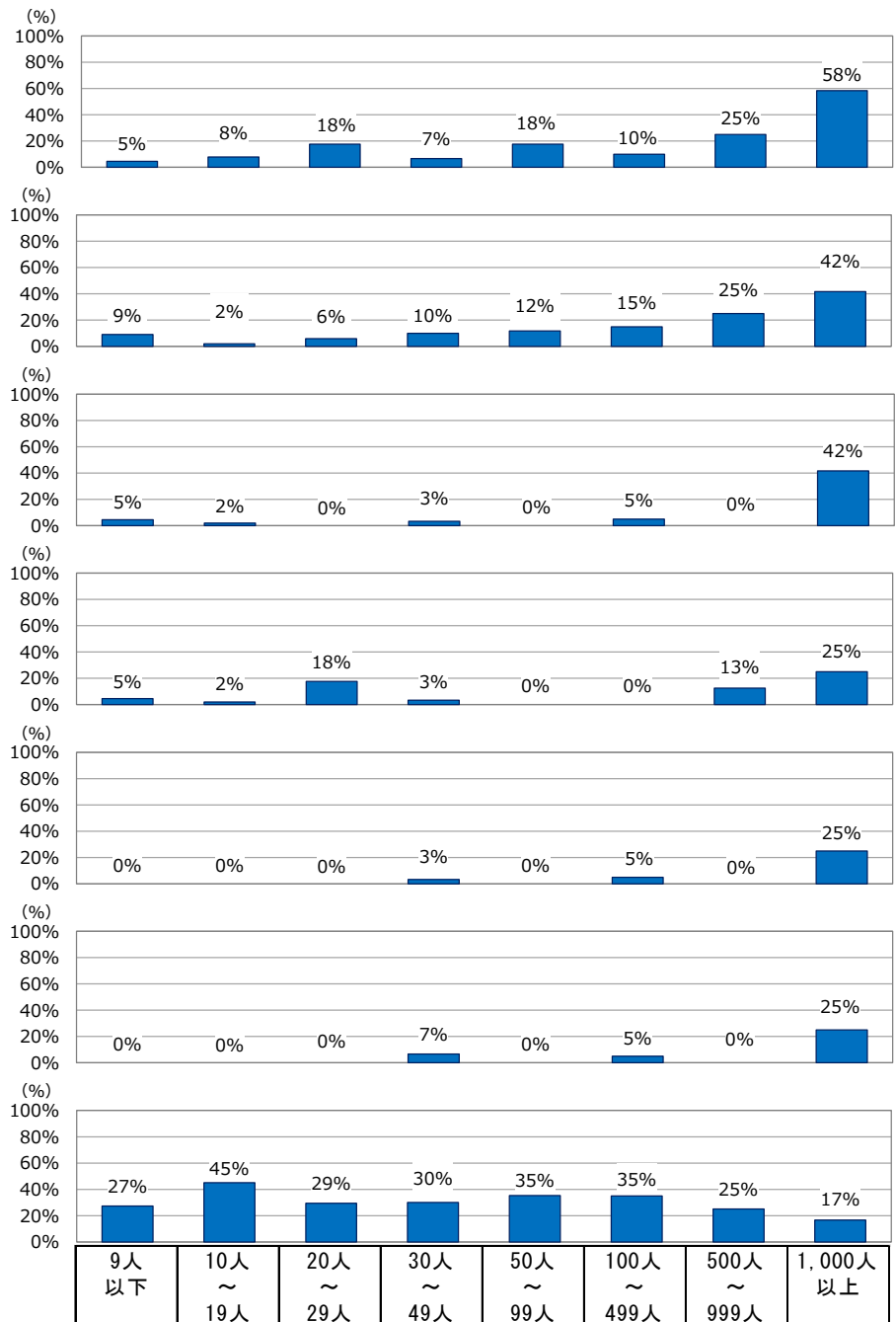
(改善された点)

- ・改善された項目はありませんでした。

(改善されなかった点)

- ・すべての項目が改善されませんでした。
- ・生物多様性の重要性について、事業者に普及・啓発すること、市・市民と協働で取り組む機会を増やすことが課題です。

周辺地域の生物に配慮し、緑地を確保したり、植栽に在来種を選んだりしている
取り扱い商品や材料等の調達の際に、環境ラベルのある製品など生物多様性に配慮した製品を選んでいる
里山保全や植林、外来生物駆除などの生物多様性保全の活動を支援している
自社で植林などの生物多様性保全の活動を行っている
自然環境や生態系など、生物多様性保全に関する法令の社員研修を行っている
自然環境や生態系など、生物多様性保全に関する社外への環境教育や啓発活動を行っている
生物多様性保全に関する取り組みを行っていない



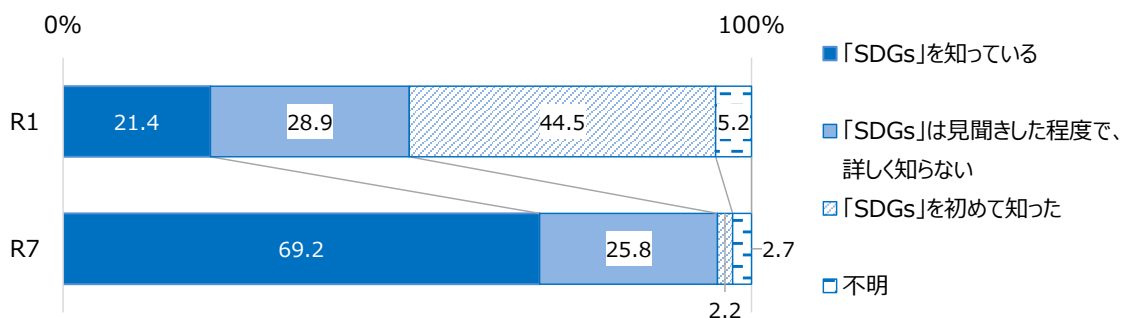
- ・事業所の規模ごとに見ると、事業所の規模が大きいほど取り組んでいる割合が高い傾向があります。
- ・1,000人以上の事業所は、いずれの項目も25%以上が取り組んでおり、1,000人未満と大きく違いがあります。
- ・数人～数百人規模の事業所に取り組んでもらうことが課題です。対策として、他の事業所の取組内容、簡単にできる取組を多くの事業者知ってもらうことが考えられます。

8. 【問6】 集計結果

《SDGs（持続可能な開発目標）について》

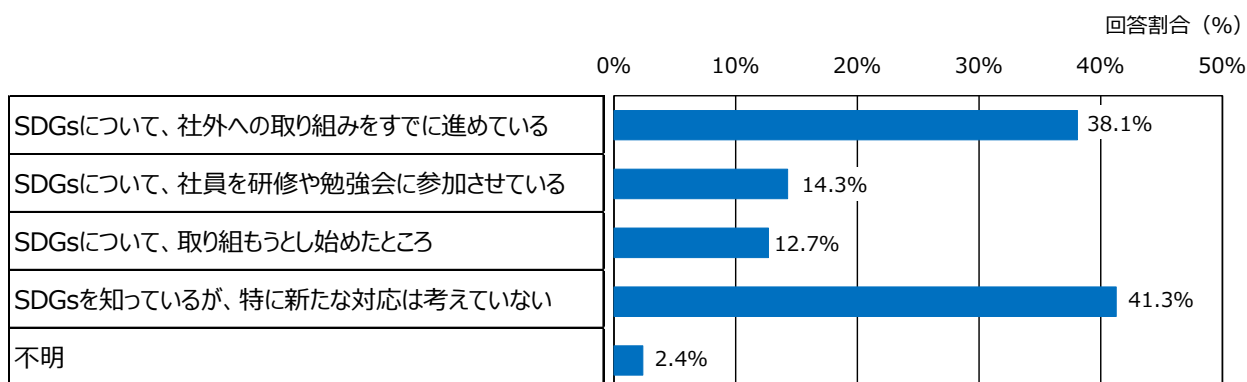
2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて2016年から2030年までの国際目標として、17の目標が掲げられています。貴事業所では、SDGs（持続可能な開発目標）に関する取り組みをされていますか。次の1～4の中から、あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。（1. SDGsを知っている 2. SDGsは見聞きした程度で、詳しく知らない 3. SDGsを初めて知った）

「SDGs」を知っている」を選んだ方は、下の枠線内の質問もお答えください。



- ・「SDGsを知っている」と回答した事業所が約20%から約70%へ大幅に増えました。
- ・大幅な増加の要因として、国・自治体の普及啓発、学校教育、報道・メディア露出の増加が考えられます。また、大手企業・取引先からの要請の可能性もあります。

あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。



- ・「社外への取り組みをすでに進めている」は約40%で、多くの事業所が実際に取り組んでいます。
- ・「知っているが特に新たな対応は考えていない」も約40%で、今後取り組んでもらうことが課題です。

9. 【問7】 市に対するご意見等

《市に対するご意見等》

安城市の環境施策について、意見がありましたらご記入ください。

【要望・改善意見】

- ・側溝からわく虫が多いので、対策をしてほしい。
- ・花壇などが減っています。増やしてほしい。
- ・交通渋滞のない町づくりを進めてほしい。
- ・道路整備を行って、信号を減らしてほしい。
- ・緑を残す、増やすことに市民がもっと関心を持てるような施策をしてほしい。

【その他の意見】

- ・緑の多い環境で事業を行うことができ、感謝しています。
- ・子ども向けの間伐作業の体験を毎年行っています。
- ・SDGs 環境への配慮は、私共小さな事業所では考える余裕がありません。
- ・家庭では環境に配慮していますが、NPO 法人の団体としてはあまりできていません。